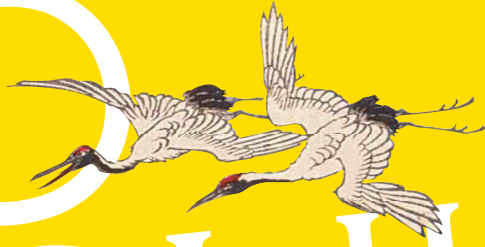


河鍋

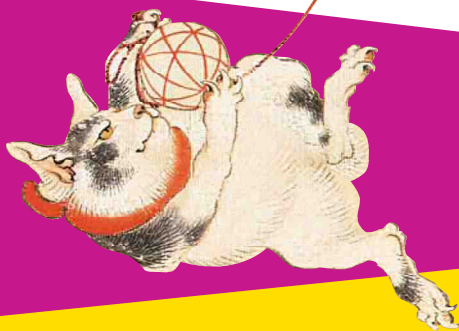
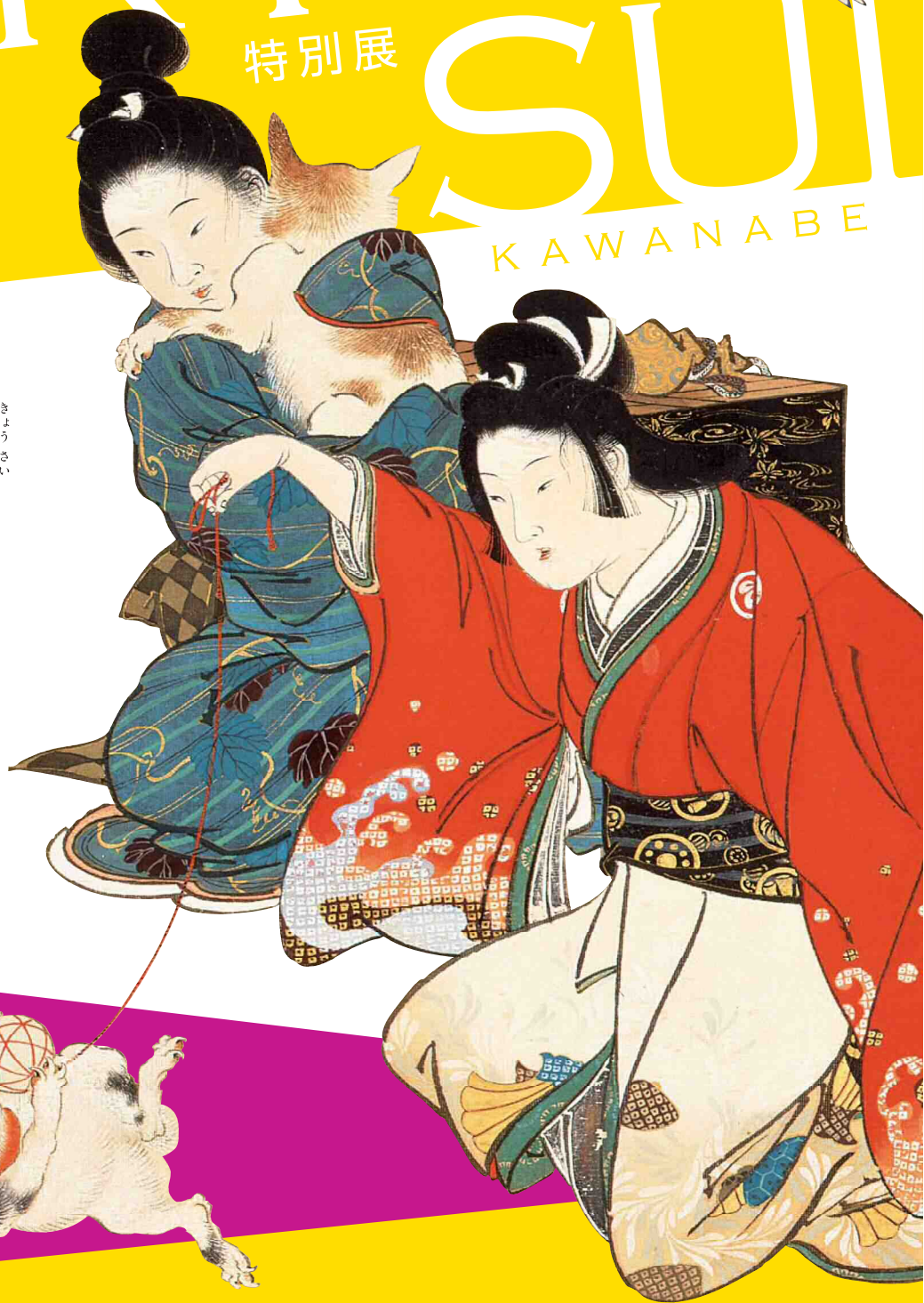
KYO SUJI

特別展
KAWANABE



暁 翠 展

—父・暁斎から娘へ、受け継がれた伝統—



2022

10/22(土) ▶ 12/4(日)

9:00~17:00 (ただし、入館は16:30まで)

※10/22(土)は正午から一般公開

※会期中に展示替えがあります

休館日：毎週月曜日、11/4(金)、11/24(木)

会場：一宮市三岸節子記念美術館

観覧料：一般1,000円、高校・大学生500円、中学生以下無料

※コレクション展(三岸節子常設展示室)観覧料を含む

※20名以上の団体は2割引

※一宮市内の満65歳以上で住所・年齢の確認ができる公的機関発行の証明書等提示された方、身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳を持参の方(マイロID可、付添人1人を含む)は無料

※開館記念日(11/3)無料観覧デー：11/3(木・祝)は開館記念日につき、無料でご観覧いただけます。

※清須市はるひ美術館・稲沢市荻須記念美術館 相互割引

清須市はるひ美術館「清須ゆかりの作家 阿野義久展 生命形態—日常・存在・記憶—」(9/10-11/13)、稲沢市荻須記念美術館「藤島武二スケッチ百花—大川美術館コレクションと名品の彩り—」(10/22-12/4)のいずれかの観覧券(半券可)ご提示で本展観覧料が2割引となります(1枚につき1名限り、割引はできません)。

主催：一宮市三岸節子記念美術館、朝日新聞社 協力：公益財団法人 河鍋暁斎記念美術館

河鍋暁翠(毘沙門天東狩之図)(部分)1889年 河鍋暁翠(猫と遊ぶ二美人)(部分)制作年不詳 河鍋暁翠(松園・羽衣)(部分)制作年不詳
すべて河鍋暁斎記念美術館蔵



一宮市三岸節子記念美術館

〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南3147-1
TEL:0586-63-2892 FAX:0586-63-2893



河鍋 暁 翠 展

父・暁齋から娘へ、受け継がれた伝統

明治時代半ばから昭和時代初期にかけて活躍した女流日本画家・河鍋暁翠(1868-1935)。狩野派でありながら浮世絵のほか、流派にとらわれない作品を描いた絵師・河鍋暁斎(1831-1889)を父にもつ暁翠は、数え5歳の頃、暁斎から絵手本《柿に鳩の図》を手渡され、絵の研鑽を深めていきます。暁斎の門人として修業を重ねつつ、父の薦めで日本画家・山名貫義(1836-1902)へ入門、土佐・住吉派を吸収し、穏やかな美人画を代表とする上品で優美な作品世界を構築しました。明治35(1902)年には私立女子美術学校(現・女子美術大学)初の女性日本画科教授となり、後進の教育にも携わりました。昭和3(1928)年の昭和天皇即位を

祝う御大典奉祝記念東洋絵画展覧会では一等賞金牌を得、女流画家として広く認められていたことがわかります。

これまで父・暁斎の名に隠れがちであった暁翠ですが、最近では、暁翠の活躍を描いた歴史小説『星落ちて、なお』(澤田瞳子著、2021年、文藝春秋)が第165回直木賞を受賞したことも注目が集まっています。本展は、父の画技を受け継ぎながらひとりの日本画家として名を残した暁翠の作品を一堂に並べ、その画業の全貌を紹介する初の展覧会です。



2



1



3



4



5



6



8

同時開催

コレクション展(常設展)

「画家の系譜」

開催期間: 10/22(土)~2023.1/22(日)

三岸家は節子の夫・好太郎が画家で、その間に生まれた息子・黄太郎も画家となり、芸術の才が受け継がれていきました。その他、師から弟子への継承など、節子につながる画家の系譜を紹介します。

1. 河鍋暁翠(寛永時代美人図)大正5(1916)年
2. 河鍋暁斎(毘沙門天寅狩之図)明治22(1889)年
3. 河鍋暁斎(柿に鳩の図)明治5(1872)年頃
4. 河鍋暁斎(鳥に鴉)制作年不詳
5. 河鍋暁斎・暁翠合作(靈山群仙図)文久年間(1861)~明治25(1892)年
6. 河鍋暁翠(美人の顔 第二段 絵手本)制作年不詳
7. 河鍋暁翠(松風・羽衣)(双幅)制作年不詳
8. 河鍋暁翠(百福図)制作年不詳

1~8すべて河鍋暁斎記念美術館蔵

清須市はるひ美術館・稲沢市荻須記念美術館 相互割引

清須市はるひ美術館「清須ゆかりの作家 阿野義久展 生命形態—日常・存在・記憶—」(9/10-11/13)、稲沢市荻須記念美術館「藤島武二スケッチ百花—大川美術館コレクションと名品の彩り—」(10/22-12/4)のいずれかの観覧券(半券可)ご提示で本展観覧料が2割引となります(1枚につき1名限り・割引の併用はできません)。

関連イベント

●講演会「河鍋暁翠展に寄せて—父と娘の絆—」

日 時: 11/6(日) 14:00~(開場 13:30)

講 師: 狩野博幸氏(美術史家、京都国立博物館名誉館員)

定 員: 60名(先着)

参加費: 無料

申込み: 不要(当日直接会場)

●ワークショップ「浮世絵実演講座&摺り体験」

内 容: 暁斎・暁翠も手がけていた浮世絵ができあがるまでを、歴史や制作工程を解説しながら実演します。その後、実際に摺ってみます。

日 時: 11/20(日) ①10:00~12:00、②14:00~16:00

講 師: 竹中健司氏(竹中木版 竹笹堂)

対 象: 小学生~大人まで(小学3年生以下は保護者同伴)

定 員: 各16名

参加費: 500円

申込み: 10/29(土)午前9時から電話(0586-63-2892)にて先着順で受付

●学芸員によるギャラリートーク

日 時: 11/12(土)、11/27(日) 各14:00~

参加費: 無料(要観覧券)

申込み: 不要(当日直接会場)

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、予告なく中止・変更となる場合があります。最新情報は当館SNSをご確認ください。 ※当館および一宮市が取材した記録映像・音声等は、加工せずそのままウェブサイトや広報紙に掲載することがあります。

ICHINOMIYA CITY MEMORIAL ART MUSEUM OF SEIKO MURISHI
一宮市三岸節子記念美術館
〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南3147-1
メールアドレス migishi@city.ichinomiya.lg.jp https://s-migishi.com
f @s.migishi.museum i @s.migishi.museum t @s_migishi_muse

〈交通案内/公共交通機関をご利用の場合〉 名古屋駅から電車とバスで約40分

- JR東海道本線(名古屋駅⑥番)にて「尾張一宮駅」下車、または名鉄名古屋本線にて「名鉄一宮駅」下車(JR新快速・名鉄特急で10~15分)、一宮駅西口の名鉄バスターミナル②番のりばから「起(おこし)」行きで約15分、「起工高・三岸美術館前」バス停下車、徒歩1分。[バスは1時間に3本運行]
- 岐阜早羽駅(東海道新幹線)からタクシーで約20分

